



会報誌 「ちーたー」

創刊準備 第3号

(2013年5月19日発行)

若年認知症交流会小さな旅人たちの会開設準備会



————— 第 3 号 の 内 容 —————

<前号発行時（2月末）からの動き>

1. 地域との接点づくり
2. 学生へのお誘い
3. NPO 認証手続きの途中経過
4. 助成金の採択と新たな申請
5. 設立記念講演会への後援
6. 雑誌等への掲載

<今後の予定、動きについて>

1. オープンミーティング（5月25日）
2. プレ交流会（6月8日）
3. おためし旅行（6月15、16日）
4. 中野区長訪問（6月上旬）



文京区白山にある東洋大学



秩父観光ナビより引用 <http://navi.city.chichibu.lg.jp/>

<編集後記>

事務局の窓

「ちーたー時速 100 k m ! !」 Vol. 2

以下、別紙

<みなさまへの協力のお願い>

1. 設立記念講演会の PR
2. 専門医にお聞きしたい内容の募集
3. 取材内容に関する意見の募集

<会員の加入、賛助等の状況>

正会員、賛助、家族会員の加入状況
寄付等の報告

前号発行時（2月末）からの動き

■地域との接点づくり

地域密着と銘打って活動する以上、実際に地域のことを知らなければ始まらないだろうと思い立ち、この間、認知症の支援に関係する診療所や施設に出向き、また、活動している人たちにお会いして、地域の様子を肌で感じるべく動いてきました。

直接足を運んだことで地域の現状を知ることができましたし、今後のご縁のきっかけをつくることのできるなど、手応えを感じました。今後もさらにアプローチを継続するとともに、中野区だけでなく杉並区にも範囲を広げていきたいと考えています。

<おもな訪問先>

(1) 医療機関

中野区内で認知症といえば、必ず名前の挙がる「あしかりクリニック」を訪れ、芦刈先生とお話をしました。先生からは、若年性認知症の人には全員チラシを渡してくれるとのことをお話をいただくことができました。

(2) 地域包括支援センター

中野区内全 8 か所の地域包括支援センターを理事長が訪問し、会の紹介をするとともに、若年性認知症に関する相談の状況などについてお話をお聞きしました。実際に対応した経験の有無で温度差のあることも実感できました。

訪問に当たっては、本会会員の白岩さん、橋口さん、川村さんにもご協力をいただきました。

(3) 介護事業所

「デイホームゆりの木 中野」の右馬埜さん、「ホームタウン友愛」の山田さんをお訪ねし、中野区内の認知症介護の現状などについてお聞きしました。

(4) 家族会活動団体など

区内で活動されている、さぎ草の会（中大路さん・西田さん）、花みずきの会（海賀さん）、新井の介護を考える会（佐藤さん・伊藤さん）とお会いし意見交換をさせていただきました。立場が似ているせいもあるのか、いずれの場合も話が弾み、時が経つのを忘れてしまうほどでした。今後も良いご縁が続きそうです。

■学生へのお誘い

本会では学生の参画ということを重視していきたいと考えています。それは、会の活性化のみならず、関わってくれた学生たちが社会に出て、本会での経験を活かして活躍し、認知症になっても普通に生活できる地域づくりを継続的に進めていってほしいと願うからです。今回、2大学の学生と縁を持てる可能性が出てきました。

(1) 東洋大学

社会学部の加山弾准教授のゼミを訪れ、会の活動への参画についてお誘いをしてきました。その際、ゼミの冒頭に3分間スピーチというのがあり3人の話を聞いたのですが、とてもしっかりとした内容で驚きました。4年生の学生さんたちです。

(2) 帝京平成大学

学生ボランティアのリーダーさんと5月末にお話しする機会を持ちます。うまく条件が合えば7月20日の設立記念講演会のお手伝いをお願いできるかもしれません。

■NPO 認証手続きの途中経過

4月26日に東京都から連絡があり、2ヵ月間の縦覧期間が終了して審査に入ったとのこと。そして早速補正の指示がありました。内容は設立趣旨書及び事業計画書に関する軽微な修正を求めるもののみ。早速、修正して4月30日に再提出しました。確認したところ認証の時期は6月後半になるとのことでした。順調に進んでいるようですが、やはり時間がかかります。

■助成金の採択と新たな申請

NPO 活動に代表される非営利活動の運営の難しさの大きな要因として挙げられるのが活動資金の確保です。本会についてもご多分にもれず、その点は大きな課題です。

本会では、資金確保の方策として各種助成金を最大限に活用していく考えです。とはいえ、活動実績のない新規団体を対象とする助成金は数少ないのが実情です。そんな中、2つの助成金の採択を受けることができましたので報告します。有意義に活用させていただきたいと思えます。

(1) 2013年中央ろうきん助成プログラム

交流会活動に対する助成です。助成金額 30 万円。最長 4 年間助成

<http://www.rokin-ikiiki.com/josei13.html>

(2) 中野区社会福祉協議会 ボランティア・NPO 団体立ち上げ助成

設立記念講演会に対する助成です。助成金額 20 万円

※ 現在申請中のもの

NHK 厚生文化事業団の「わかば基金」に先日、助成申請書を提出しました。ノートパソコン 3 台の助成です。8 月末に結果が通知されます。

■設立記念講演会への後援

7月20日の設立記念講演会の開催に際し、事業への後援をいただくべく、後援名義の使用許可を申請し、以下の団体から承認を得ることができました。

(1) 承認を得ることのできた団体

中野区、東京都、一般社団法人中野区医師会

(2) 今後に申請を予定している団体

杉並区 ※法人格を有することを要件としているためNPO法人認証後に申請します。

■雑誌等への掲載

5月3日付けの日刊スポーツに本会の活動が紹介されました。取り上げられた内容は、

まだ実施していない旅の支援の部分なので、会としては違和感を覚えるところもありますが、スポーツ新聞ですので、読んでもらえる記事に仕立てることの事情もあるのでしょうか。

幅広い年代が読むスポーツ新聞に若年性認知症を扱った連載記事があることは知りませんでした。

その意義の大きさを感じ、取り上げていただいたことに感謝します。



今後の予定、動きについて

■オープンミーティング（旧名称:スタッフ会議）

交流会の合間の月に、反省会と企画会議を兼ねて開きます。どなたでも参加可です。初回は、5月25日(土)14時 マイルドハート高円寺にて開催します。

内容：若年認知症の全般知識、ピアサポートの進め方等に関する専門医の講習、今後の交流会の進め方についての検討など

以降、7月13日(土)、9月14日(土)に開催 ※奇数月第2土曜日、14時から

※「スタッフ会議」だと新しい方が参加しにくいとの声から、名称変更しました。

■プレ交流会

6月8日(土)14時 マイルドハート高円寺にて開催します。詳細は案内ちらしを。

■おためし旅行

今後実施する旅のお手伝い事業のイメージを固めるため、6月15、16日におためし一泊旅行に出かけます。追加参加可能ですので、興味のある方は事務局までご連絡ください。宿泊先は秩父の囲炉裏のある宿、小鹿荘。費用は2万円程度です。

■中野区長訪問

6月上旬に中野区長をお訪ねし、会の活動の紹介と懇談を行う予定です。

事務局の窓 「ちーたー時速100km!!」 Vol.2

- 先日、役員と会員数名で今後の運営について打合せした際、秩父の龍勢祭が話題に出ました。そんなこともあって表紙にポスターを引用してみました。願いを込めた手作りロケットの打ち上げをみんなで見られたら楽しいでしょうね。祭りの様子を展示した会館があるというので、おためし旅行の際に寄ってみようと思っています。
- 中野区内の家族会活動団体などと接点を持てたことは、とても良い刺激となり、地域で活動することの手応えとやりがいを感じさせてくれました。時には連絡を取りあい意見交換を、そんな場面を作る仲立ちもしていければと思います。
- 現在、本会事務所を会場とした小規模なサロン活動の開設を検討しています。回数はそんなに多くできないと思いますが、交流会と並行実施していければと考えています。「わかば基金」へのパソコン導入の助成申請はこのことを視野に入れた動きとなります。25年度の後半に開始の目処を立てられればと思っています。

次号は、6月下旬発行予定です。(オープンミーティング、プレ交流会の様子など)お気づきの点などございましたら、お気軽に以下の発行事務局までご連絡ください。

編集・発行



若年認知症交流会 小さな旅人たちの会 ちいたび会

〒165-0034 東京都中野区大和町3-9-22 高橋恵美子方

ホームページ：<http://chiitabi.jp/> メール：honbu@chiitabi.jp

TEL/FAX：03-3338-6932 担当：高橋 昭彦